

■ 「飛騨大会」までの向こう3年間の見通し

年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
「研究」に関わって (研究部)	①「飛騨地区大会」実施要綱の作成及び検討 ②飛騨地区共同研究会(8月8日) ・研究の方向の共通理解を図ると共に、組織作りを行う。 ・飛騨教育事務所 教育支援課 指導主事 今井 則雄先生による指導助言	①飛騨地区大会における授業者の決定及び指導案の作成開始 ②飛騨地区大会における実践提案者の決定及び実践提案の作成開始 ③飛騨地区共同研究会 ・各領域部長を招き、研究の方向の確認屋や指導の具体の検討を行う。	①2回の市教研と、日枝中学校の公表会の場で、プレ授業を行い、指導案の修正を図る。(3領域1事項すべて) ②飛騨地区共同研究会 ・実践提案の検討会(3領域1事項すべて)を行い、修正を図る。 ③各研究部で指導案及び実践提案の検	①飛騨地区大会の授業及び実践提案の最終準備 ②実施報告書の作成
	随時、県中国研の各指導部長と連携し、指導の方向や指導の具体を検討していく。			
「運営」に関わって (運営部)	①運営部発足及び当面の運営について見通しをもつ。 ②飛騨地区大会に向けての組織作り ・飛騨地区すべての国語科の先生の所属領域の割当 ・運営部長、部員の選出など。	①運営部からの報告及び提案をし、吟味した上で修正を図る。 ②運営部の組織化を図る。 ③向こう3年間の見通しをもつ。 ④飛騨地区共同研究会で、運営面における指示伝達。	①運営部会を開き、当日の運営に関わる具体を明らかにする。 ②担当ごとに運営する。 ・会場の予約 ・行程一覧表の作成など ③飛騨地区共同研究会で、運営面における指示伝達。	①運営部最終準備。 ②担当の動き、会場設営など ③実施報告書の作成 ・次回大会への申し送りなど ④飛騨地区共同研究会で、運営面における指示伝達。
	随時、県中国研の運営部と連携し、運営面における連絡や報告をしていく。			

■ 2019年度 中国研活動計画

前期	後期
4月上旬：組織再編(異動を鑑みて)	9月～：研究の積み上げ
5月上旬：「市教研」にて、「市の国語の研究テーマ」と「夏季研究会の日時」を飛騨地区統一したものを伝達する。(代議員)	10月～：各市教研の授業にて、研究を重ねる。
6月中：夏季研究会会場押さえ(野島)	11月～：各領域部会にて実践交流を行い、今研究の成果・課題を明らかにする。
8月上旬：夏季研究会(一之宮公民館)	12月～：「ぎふこくご」原稿作成。

